

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	管理工学
科目基礎情報						
科目番号	0096		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	生産管理入門 (坂本碩也 著・オーム社)					
担当教員	脇坂 賢					
到達目標						
1. 企業の技術者として必要な生産管理について基礎的な知識を習得し、応用できる。 2. 効率的な生産、品質管理、生産性向上の手法などを理解し、活用できる。 3. P D C AやQ C手法などを実務に活用できる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		生産管理の基礎的な項目について、計算、もしくは図を作成できる	生産管理の基礎的な項目について、説明できる	生産管理の基礎的な項目について、説明できない		
評価項目2		効率的な生産、品質管理、生産性向上の手法などを理解し、活用できる	効率的な生産、品質管理、生産性向上の手法などを説明できる	効率的な生産、品質管理、生産性向上の手法などを説明でない		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	生産管理、工程管理、品質管理、安全管理、など企業の技術者に必要な基礎的な知識を学ぶ。					
授業の進め方・方法	・ 授業方法は講義を中心とし、授業中の演習問題や課題は確実に理解すること。 ・ 就職後の実務に役立つ内容であることを意識して取り組むこと。					
注意点	・ 本科目は隔週開講科目となる。下記「授業計画」は、「週」ではなく「回」を基準にして入力されているので注意すること。 ・ 他の講義との関連上、教科書の章立てと授業の順番が異なる点があるので注意すること。 ・ 就職活動の際に、本科目の内容理解が有効となることがある。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 生産管理	「生産管理」の内容となる各項目を説明できる		
		2週	生産組織	管理組織の種類ごとのその長所短所を説明できる		
		3週	生産計画	品種と生産量から生産方式を判別できる		
		4週	工程管理	必要人員数を概算できる ガントチャートを読める		
		5週	中間テスト			
		6週	テスト返却・解説 P E R T	アローダイアグラムを構築し、最遅開始日程およびクリティカルパスを求めることができる		
		7週	作業分析	ピッチタイム、ラインバランス効率、作業正味時間を計算できる		
		8週	資材管理	発注点、安全在庫量を計算できる		
	2ndQ	9週	期末試験			
		10週	試験返却・解答 運搬管理・倉庫管理	管理手法について説明できる		
		11週	設備管理 環境管理	管理手法について説明できる 安全衛生管理について説明できる		
		12週	人事管理	雇用管理と労働三法について説明できる		
		13週	中間テスト			
		14週	テスト返却・解説 マネジメント	I S O 9 0 0 0およびI S O 1 4 0 0 1について説明できる		
		15週	原価管理	減価償却費を計算できる		
		16週	品質管理	パレート図を書くことができる 抜き取り検査手法について説明できる		
後期	3rdQ	1週	期末テスト			
		2週	テスト返却・解説			
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				

		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	50	0	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0